



各種委員会委員一覧

1. 運営会議

委員：揖斐 高	成蹊大学文学部教授
岡崎 久司	早稲田大学熊野文化研究所客員教授
雲英 末雄	早稲田大学第一文学部総合人文学科教授（副議長）
工藤真由美	大阪大学大学院文学研究科教授
榊原 悟	群馬県立女子大学文学部美学美術史学科教授
高埜 利彦	学習院大学文学部教授
十川 信介	学習院大学文学部教授
名和 修	（財）陽明文庫文庫長
平野由紀子	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授
保立 道久	東京大学史料編纂所長
森 正人	熊本大学文学部教授
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系研究主幹
鈴木 淳	副館長（議長）
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
安永 尚志	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 4 月 16 日（月） 15：00～17：00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 任期に関する規則の改正について
2. 助教人事について
3. 人事協議会委員の選出について
4. 平成 18 事業年度に係る業務の実績について

【報告事項】

1. 平成 19 年度年度計画について
2. 当館の管理運営について
 - (1) 移転について (2) 賛助会について (3) その他
 - ① 管理部の組織改組について ② 研究倫理委員会の設置について

第 2 回 平成 19 年 12 月 11 日 (火) 15:30~17:40

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 研究教育職員人事について
2. 平成 20 年度年度計画について
3. 中期目標期間の評価について
4. 平成 20 年度客員教員及び外国人研究員について
5. 中期計画の変更（重要財産の処分）について

【報告事項】

1. 立川移転について
2. その他

第 3 回 平成 20 年 1 月 28 日 (月) 14:00~17:50

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 研究教育職員人事について
 - (1) 採用について (2) 昇任について (3) 再任について
2. 中期目標期間の評価について
3. 平成 19 事業年度に係る業務の実績について

【報告事項】

1. 平成 20 年度予算内示について
2. 総研大日本文学研究専攻について
3. 立川移転について
4. 日本古典文学学術賞について
5. その他

2. 共同研究委員会

委員：井原今朝男	国立歴史民俗博物館歴史資料センター長
中嶋 隆	早稲田大学教育・総合科学学術院教授
中丸 宣明	山梨大学教育人間科学部准教授
三田村雅子	フェリス女学院大学文学部教授
三村 晃功	京都光華女子大日本語日本文学科教授
伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
大高 洋司	文学資源研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
落合 博志	文学形成研究系准教授
陳 捷	文学資源研究系准教授

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 12 月 3 日（月）10：00～11：45

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 20 年公募型共同研究の申請について
2. 平成 20 年度新規研究プロジェクト計画について
3. 平成 20 年度継続研究プロジェクト計画について
4. その他

第 2 回 平成 20 年 3 月 14 日（金）10：30～12：00

場 所 第 1 会議室

議事次第

1. 平成 19 年度基幹研究・研究プロジェクト実施状況について
2. 平成 19 年度公募型共同研究中間審査について
3. 平成 20 年度研究プロジェクト計画の変更について
4. 平成 21 年度公募型共同研究の募集について

3. 調査収集委員会

委員：久保田啓一	広島大学大学院文学研究科教授
嶋中 道則	東京学芸大学教育学部教授
千本 英史	奈良女子大学文学部教授
寺島 恒世	東京医科歯科大学教養部教授
中野 等	九州大学大学院比較社会文化研究院准教授
山田 俊治	横浜市立大学国際総合科学部教授
山本 登朗	関西大学文学部教授
鈴木 淳	情報事業センター長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
武井 協三	調査収集事業部副部長
谷川 恵一	調査収集事業部長
田淵句美子	調査収集事業部教授
山下 則子	普及・連携活動事業部教授
青木 睦	調査収集事業部准教授
小川 剛生	調査収集事業部准教授
落合 博志	調査収集事業部准教授
加藤 昌嘉	調査収集事業部准教授
渡辺 浩一	調査収集事業部准教授

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 6 月 1 日（金）14：00～15：00

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 平成 18 年度「調査」・「収集」結果について
2. 平成 19 年度「調査」・「収集」予定について
3. その他

第 2 回 平成 20 年 3 月 14 日（金）14：00～15：00

場 所 第 1 会議室

議事次第

1. 平成 19 年度調査収集事業について
2. 平成 20 年度調査収集事業計画について
3. その他

4. 電子情報委員会

委員：石上 英一	東京大学史料編纂所教授
石塚 英弘	筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授
内田 保廣	共立女子大学文芸学部教授
丸山 勝巳	国立情報学研究所ソフトウェア研究系研究主幹
マイケル・ワトソン	明治学院大学国際学部教授
鈴木 淳	情報事業センター長
安藤 正人	電子情報事業部教授
中村 康夫	電子情報事業部教授
古瀬 蔵	電子情報事業部長
山下 則子	普及・連携活動事業部教授
野本 忠司	電子情報事業部准教授
北村 啓子	電子情報事業部助教

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 7 月 17 日（火） 15：00～16：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 前回議事要旨確認
2. 事務情報システムの仕様について
3. 研究資源共有化システムの紹介

第 2 回 平成 20 年 3 月 6 日（木） 13：30～15：30

場 所 第 1 会議室

議事次第

【報告事項】

1. 電子情報事業部会
2. 第 7 期情報システム
3. 事務情報システム

【審議事項】

1. 平成 19 年度自己評価
2. その他

【その他】

1. 立川総合研究棟

5. 普及・連携事業委員会

委員：浅野 秀剛	千葉県美術館学芸課長
佐伯 眞一	青山学院大学文学部教授
竹本 幹夫	早稲田大学文学部教授
別府 節子	出光美術館学芸員
宮崎 康充	宮内庁書陵部図書調査官
鈴木 淳	情報事業センター長
大友 一雄	普及・連携活動事業部副部長
古瀬 蔵	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
山下 則子	普及・連携活動事業部教授
伊藤 鉄也	普及・連携活動事業部准教授
齋藤真麻理	調査収集事業部准教授

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 20 年 3 月 24 日（月）14：00～

場 所 第 2 会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成 19 年度普及・連携活動事業の評価について
2. 平成 20 年度普及・連携活動の事業計画について
3. その他

6. 図書館事業委員会

委員：市古 夏生	お茶の水女子大学文教育学部教授
折田 洋晴	国立国会図書館主題情報部古典籍課長
笹川 郁夫	東京大学附属図書館事務部長
根岸 正光	国立情報学研究所情報社会相関研究系教授
宮崎 勝美	東京大学史料編纂所近世史料部教授
鈴木 淳	情報事業センター長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
大友 一雄	普及・連携活動事業部教授
高橋 実	情報資料サービス事業部副部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
落合 博志	調査収集事業部准教授

平成 19 年度開催状況：

第1回 平成20年3月26日(水) 14:30~16:20

場 所 第1会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成19年度図書館事業報告・評価について
2. 平成20年度図書館事業計画について
3. その他

7. 国際日本文学研究集会委員会

委員：小 峯 和 明	立教大学文学部教授
関 礼 子	亜細亜大学経済学部教授
坪 井 秀 人	名古屋大学大学院文学研究科教授
横 井 孝	実践女子大学文学部教授
ロバート・キャンベル	東京大学大学院総合文化研究科准教授
鈴 木 淳	情報事業センター長
大 友 一 雄	普及・連携活動事業部教授
山 崎 誠	普及・連携活動事業部長
山 下 則 子	普及・連携活動事業部教授
伊 藤 鉄 也	普及・連携活動事業部准教授
陳 捷	普及・連携活動事業部准教授
井 田 太 郎	普及・連携活動事業部助教

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年8月1日(水) 14:00~

場 所 中会議室

議事次第

1. 第31回国際日本文学研究集会講演者の決定について
2. 第31回国際日本文学研究集会招待発表者の決定について
3. 第31回国際日本文学研究集会研究発表者の選考について
4. 第31回国際日本文学研究集会ポスターセッション発表者の選考について
5. 第31回国際日本文学研究集会プログラムの決定について

第2回 平成19年11月15日(木) 10:30~

場 所 中会議室

議事次第

1. 第31回国際日本文学研究集会の準備状況について
2. 第32回国際日本文学研究集会運営の細部打ち合わせについて
3. 第32回国際日本文学研究集会の実施計画について
4. その他

8. 主幹・部長会議

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹（調査収集事業部長）
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
古瀬 蔵	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長（日本文学研究専攻長）
城所 忠	管理部長（平成19年12月31日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成20年1月1日から）
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年4月12日（木）10：00～11：40

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 運営会議の開催について
2. 研究教育職員の任期に関する規則の改正について
3. データベースの公開に関する覚書について
4. 寄附金の受入について
5. 平成18事業年度に係る業務の実績について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議について
3. 外国出張及び海外研修について
4. その他（1）規程の制定等について

第2回 平成19年4月25日（水）10：00～12：30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 賛助会運営委員会規程の制定について
2. 平成20年度概算要求について
3. 平成19年度リサーチアシスタントの採用について

4. 平成 20 年度採用分日本学術振興会特別研究員の申請について
5. 国際シンポジウムの開催について

【報告事項】

1. 企画連携室会議及び事務連絡会議合同会議について
2. 事務連絡会議について
3. 平成 18 事業年度に係る業務の実績について
4. 平成 19 年度科学研究費補助金の内定について
5. 平成 18 年度館長裁量経費の配分について
6. 情報システム利用者講習会の実施について
7. 外国出張及び海外研修について
8. その他 (1) 立川移転に伴う資料利用の停止について

第 3 回 平成 19 年 5 月 17 日 (木) 10:00~12:10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 西日本国語国文学会からの要望について
2. 賛助会運営委員会規程の制定について
3. 後援名義使用許可願について
4. 平成 20 年度日本学術振興会特別研究員の申請について
5. 国際研究集会等の開催における主催等の名義について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議について
3. 機構長選考会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 平成 19 年度特別共同利用研究員の受け入れについて
6. 平成 20 年度日本学術振興会国際研究集会の申請について
7. 研究資源共有化システムの試験運用について
8. 外国出張及び海外研修について
9. その他 (1) 国際集会 (イタリア日本学会) への教員派遣について (2) 賛助会の寄附募集について (3) 助教の発令について

第 4 回 平成 19 年 6 月 14 日 (木) 10:00~12:20

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成 19 年度機関研究員について
2. 平成 19 年度リサーチアシスタントについて
3. 平成 19 年度外来研究員の受入れについて
4. 国文学研究資料館著作物の館外への提供についての取扱いについて

【報告事項】

1. 平成 20 年度概算要求に係る重点事項の概要について
2. 機構会議について
3. 企画連携室会議について
4. 機構長選考会議について
5. 事務連絡協議会について
6. 出版委員会からの報告について
7. 外国出張及び海外研修について
8. その他 (1) 規程の制定等について (2) 品川区内 6 機関共催科学研究費説明会の開催について (3) 構内清掃について

第 5 回 平成 19 年 6 月 28 日 (木) 10:00~11:40

場 所 中会議室

議事次第

【報告事項】

1. 経営協議会について (資料 1)
2. 教育研究評議会について (資料 2)
3. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について (資料 3)
4. 将来計画委員会からの報告について
5. 外国出張及び海外研修について (資料 4)
6. その他 (1) 機構研究資源共有化説明会及びデモンストレーションについて (2) 人事について

第 6 回 平成 19 年 7 月 12 日 (木) 10:00~11:25

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 奨学寄附金の受入について
2. 科学研究費補助金の応募資格の館内措置について
3. 「リプリント日本近代文学」の Amazon との広告代行の契約について
4. 科学研究費補助金 (間接経費) の配分方針について

【報告事項】

1. 平成 18 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
2. 機構会議について
3. 企画連携室会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他 (1) 賛助会の報告について

第 7 回 平成 19 年 7 月 26 日 (木) 10:00~12:15

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 教員の公募について
2. 後援名義使用願について
3. 規程の制定について
4. 受託研究について
5. 館蔵和古書画像の公開方法について
6. 新ロゴマークについて
7. 展示計画について

【報告事項】

1. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について
2. 中期目標期間の評価連絡協議会について
3. 事務連絡協議会について
4. 外国出張及び海外研修について
5. その他 (1) 規程の制定等について (2) 情報システムの停止について

第8回 平成19年9月13日(木) 10:00~11:50

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. シンポジウム等の開催について
2. 後援名義使用願について
3. 規程の改正について
4. 外来研究員の受入について
5. 立川移転後の閲覧室土曜特別開室について

【報告事項】

1. 機構会議について
2. 企画連携室会議について
3. 事務連絡協議会について
4. 平成20年度日本学術振興会国際研究集会の申請結果について
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他 (1) 品川区とのお別れ展示と講演会の開催について

第9回 平成19年9月27日(木) 10:00~11:50

場 所 中会議室

議事次第

【報告事項】

1. 館長裁量経費の配分について
2. 機構長選考会議について
3. 中期目標期間の評価連絡協議会について
4. 評価委員会について

5. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について
6. 事務連絡協議会について
7. 外国出張及び海外研修について
8. その他 (1) 山鹿積徳堂文庫について

第10回 平成19年10月25日(木) 10:00~12:05

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究水準外部評価委員会規程の制定について
2. 平成20年度客員教員等の採用計画について
3. 平成20年度科学研究費補助金の申請計画について
4. 国際研究集会の開催について
5. 館蔵資料の画像公開について

【報告事項】

1. 研究教育職員の人事について
2. 平成19年度第1回大学共同利用機関協議会総会について
3. 機構会議について
4. 事務連絡協議会について
5. 賛助会運営委員会からの報告について
6. 国文学年鑑について
7. 中期目標期間の評価について
8. 平成20年度館内予算配分案策定スケジュールについて
9. フランス国立科学研究センター及びENS-LSHの当館視察について
10. 外国出張及び海外研修について

第11回 平成19年11月8日(木) 10:00~12:15

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 任期付研究教育職員の再任用について
2. 研究教育職員の公募について
3. 立川移転に伴う検討事項について

【報告事項】

1. 中期目標期間の評価について
2. 研究水準外部評価委員会について
3. 経営協議会及び教育研究評議会合同会議について
4. 機構会議について
5. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について
6. 事務連絡協議会について
7. 品川区とのお別れ会について

8. 外国出張及び海外研修について
9. その他 (1) 西日本国語国文学会からの要望について (2) 故サイデンステッカー氏資料の寄贈について (3) オランダ国 IIAS の当館視察について (4) 消防の立ち入り検査について

第12回 平成19年11月29日(木) 10:00~12:20

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 運営会議の開催について
2. 平成20年度年度計画について
3. 平成20年度客員及び機関研究員等について
4. 総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻内におけるノート型パソコン及び記録媒体の館外持ち出し手続き等について

【報告事項】

1. 研究教育職員の人事について
2. 館長裁量経費の配分について
3. 企画連携室会議等について
4. 事務連絡協議会について
5. 立川新施設の部屋の配置について
6. 平成20年度科学研究費補助金の申請について
7. 平成20年度日本科学技術振興会特別研究員の申請結果について
8. オランダ国 IIAS 招聘者の視察日程(案)について
9. SSL-VPN の導入とメール自動転送禁止について
10. 外国出張及び海外研修について
11. その他 (1) 平成20年度特殊切手について (2) 平成19年度年末年始の行事予定について (3) 規程等の制定について

第13回 平成19年12月20日(木) 10:00~11:45

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 寄附金の受入について
2. 館蔵貴重書等の画像公開について

【報告事項】

1. 中期計画の変更(重要財産の処分)について
2. 機構会議について
3. 企画連携室会議について
4. 平成19年度連携研究の予算の追加配分について
5. 立川新施設の部屋の配置について
6. オランダ国 IIAS 招聘者の視察について

7. 陽明文庫展の予定について
8. 資源共有化システムのサーバの移設について
9. 外国出張及び海外研修について
10. その他 (1) 機構連携展示に関する資料貸付申込について (2) 機構給与規程の改正について
(3) 評価関係について

第14回 平成20年1月17日(木) 10:00~11:30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 運営会議の開催について
2. 資料掲載規程の改正について

【報告事項】

1. 中期目標期間の評価について
2. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について
3. 事務連絡協議会について
4. ウォームビズについて
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他 (1) 立川新施設における研究室のレイアウトについて

第15回 平成20年1月31日(木) 15:00~16:30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 中期目標期間の評価について
2. 平成19事業年度に係る業務の実績について
3. 人間文化研究機構の研究教育職員の任期に関する規程について

【報告事項】

1. 運営会議について
2. 機構会議について
3. 企画連携室会議等について
4. 事務連絡協議会について
5. 外国出張及び海外研修について
6. その他 (1) 規程の制定等について (2) 移転に伴う連絡先等の通知について

第16回 平成20年2月14日(木) 10:00~11:30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 図書館利用規程について
2. 平成20年度館内予算配分について

【報告事項】

1. 中期目標期間の評価について
2. 日本語研究・大学共同利用機関構想懇談会について
3. 機構会議について
4. 企画連携室会議について
5. 事務連絡協議会について
6. 平成19年度機構連携研究経費の追加要求について
7. 平成20年度採用分日本学術振興会特別研究員（RPD）について
8. 人間文化研究資源共有化一般公開記念フォーラムについて
9. 外国出張及び海外研修について
10. その他（1）機構長を囲む会について

第17回 平成20年3月13日（木）10：00～12：30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 規程等の制定及び改正について
2. 平成20年度兼業について
3. 平成20年度リサーチアシスタントの採用について
4. プロジェクト研究員の募集について

【報告事項】

1. 研究教育職員の人事について
2. 教育研究評議会及び経営協議会について
3. 機構会議について
4. 企画連携室会議等について
5. 人間文化研究総合推進検討委員会について
6. 事務連絡協議会について
7. 中期目標期間の評価について
8. 日本古典文学学術賞選考委員会について
9. 旅費事務について
10. 外国出張及び海外研修について
11. その他（1）規程等の改正について（2）アルバイト謝金について（3）来年度の研究プロジェクト代表者について（4）図書の購入について（5）4月からの閲覧室の開室について（6）ニューズレターの統合について

第18回 平成20年3月27日（木）10：00～11：50

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成20年度兼業について
2. 規程の制定について

【報告事項】

1. 外部委員会委員等の交替について
2. 企画連携室会議及び事務連絡協議会合同会議について
3. 移転記念式典について
4. 外国出張及び海外研修について
5. その他 (1) 平成 20 年度人事について

9. 人事委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
城所 忠	管理部長（平成 19 年 12 月 31 日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成 20 年 1 月 1 日から）
愛場 優治	管理部総務課長

10. 研究系会議

委員：鈴木 淳	副館長
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
青木 睦	アーカイブズ研究系准教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系准教授
野本 忠司	複合領域研究系准教授
渡辺 浩一	文学資源研究系准教授
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 4 月 17 日（火）13：30～15：00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成 19 年度機関研究員の公募について

2. 平成 19 年度日本学術振興会特別研究員 (RPD) の受け入れについて
3. 平成 19 年度 RA の採用について
4. 平成 19 年度予算執行について
5. 移転準備作業に伴う資料の利用について
6. 展示・シンポジウムの企画等について
7. その他

【報告事項】

1. 平成 19 年度科学研究費補助金の内定について
2. 寄附金の受け入れについて
3. 『サレジオ大学図書館マリオ・マレガ文庫所蔵日本書籍目録英文編』データベースの公開に関する覚書について
4. 「人物・キャラクターの視点による前近代文学史構築の研究」国際シンポジウムについて
5. その他

第 2 回 平成 19 年 5 月 15 日 (火) 10:30~12:20

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成 20 年度日本学術振興会特別研究員の申請について
2. 国際集会 (イタリア日本文学会: ヴェネツィア) への教員派遣について
3. 平成 19 年度機関研究員の募集要項について
4. 国際研究集会等の開催における主催等の名義について
5. 教員の勤務評定について

【報告事項】

1. 平成 19 年度特別共同利用研究員の受け入れについて
2. 平成 20 年度日本学術振興会国際研究集会の申請について
3. 平成 19 年度総研大海外先進教育研究実践支援制度派遣候補者の決定について
4. 国際シンポジウム (台北) の開催について
5. 平成 19~20 年度開催予定の国際研究集会等について
6. 第 4 回 (平成 19 年度) 日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について

第 3 回 平成 19 年 6 月 12 日 (火) 15:30~16:30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成 19 年度機関研究員について
2. 平成 19 年度リサーチアシスタントについて
3. 平成 19 年度外来研究員の受入れについて
4. 教員の勤務評定について

【報告事項】

1. 中期目標期間の評価について

2. 研究成果刊行促進制度審査結果について
3. 平成 20 年度稲盛財団研究助成の募集について
4. 平成 19 年度プロジェクト・科学研究費補助金執行状況について
5. その他

第 4 回 平成 19 年 7 月 24 日 (火) 15:30~16:30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 受託研究について
2. 研究教育職員の勤務評定の評定要素について
3. 「日本文学研究会：越境する和歌」における後援について
4. 「鹿島鍋島藩の政治と文化」における主催・共催について
5. その他

【報告事項】

1. 寄附金の受入について
2. 中期目標期間の評価連絡協議会について
3. その他

第 5 回 平成 19 年 9 月 11 日 (火) 13:30~15:30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 外来研究員の受入れについて
2. 当館主催、共催のシンポジウム等の開催計画について
3. 研究プロジェクト別の展示計画について
4. 出版掲載料の取扱いについて
5. その他

【報告事項】

1. 平成 20 年度日本学術振興会国際研究集会の申請結果について
2. 平成 20 年度科学研究費補助金における公募内容の変更について
3. 平成 19 年度研究費の執行状況について
4. その他

第 6 回 平成 19 年 10 月 23 日 (火) 13:30~15:30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成 20 年度研究プロジェクト等の計画について
2. 平成 20 年度客員及び機関研究員等について
3. 平成 20 年度外国人研究員について

4. 平成 20 年度科学研究費補助金の申請計画について
5. プロジェクト発表会について
6. ハーバード大学で行う国際研究集会について
7. 研究者紹介について

【報告事項】

1. フランス国立科学研究センター及び ENS-LSH の視察日程（案）について
2. 平成 19 年度研究費の執行状況について

第 7 回 平成 19 年 11 月 27 日（火）13：30～15：30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成 20 年度研究計画及び予算（案）について
2. 平成 20 年度客員及び機関研究員等について
3. 人間文化研究機構国文学研究資料館資料掲載規程について
4. 共同研究等の研究成果出版物に関する申合わせ

【報告事項】

1. 平成 20 年度科学研究費補助金の申請について
2. 平成 20 年度日本学術振興会特別研究員の申請について
3. オランダ国 IAS 招聘者の視察日程（案）について
4. 総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻内におけるノート型パソコン及び記録媒体の館外持ち出し手続き等について
5. 平成 19 年度研究費の執行状況について

第 8 回 平成 20 年 1 月 8 日（火）13：30～14：30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 共同研究等の研究成果出版物に関する申合わせ
2. 人間文化研究機構国文学研究資料館資料掲載規程について

【報告事項】

1. 平成 19 年度研究費の執行状況について

第 9 回 平成 20 年 2 月 12 日（火）13：30～14：10

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 総研大若手教員派遣候補者について

【報告事項】

1. 平成 19 年度人間文化研究機構連携研究研究経費要求について
2. 平成 20 年度採用分日本学術振興会特別研究員—RPD の選考結果について

3. 平成 19 年度研究費の執行状況について

第 10 回 平成 20 年 3 月 6 日 (木) 10:30~12:30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 規程の一部改正について
2. 平成 21 年度共同研究募集要項 (案) について
3. 平成 20 年度リサーチアシスタントの採用について
4. 平成 20 年度研究プロジェクトの計画書の変更について
5. 平成 19 年度基幹研究・プロジェクト研究等の実施状況について
6. 平成 20 年度研究プロジェクト発表会について
7. 広報関係出版物についての合意
8. プロジェクト研究員の募集について
9. アルバイト謝金について

【報告事項】

1. 平成 19 年度研究費の執行状況について

11. 情報事業センター会議

委員：鈴木 淳	情報事業センター長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
谷川 恵一	調査収集事業部長
古瀬 蔵	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 6 月 21 日 (木) 10:30~12:45

場 所 中会議室

議題次第

1. 副議長選出
2. 移転後の事業のありかたについて ① 展示方針について ② 閲覧室土曜開室に伴うサービスの拡大について
3. 資料貸付規程について
4. 公開データベース各担当者について
5. 移転後の事業のあり方について ① 展示方針について ② 閲覧室土曜開室に伴うサービスについて
6. 資料貸付規程について
7. 公開データベース各担当者について

8. その他

12. 将来計画委員会

委員：鈴木 淳	副館長
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
山下 則子	文学形成研究系教授
小川 剛生	文学資源研究系准教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系准教授
入口 敦志	文学資源研究系助教
五島 敏芳	アーカイブズ研究系助教
城所 忠	管理部長（平成19年12月31日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成20年1月1日から）
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年4月24日（火）16：00～17：30

場 所 中会議室

議事次第

1. 当館の研究と研究実施体制について

第2回 平成19年5月22日（火）13：30～15：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 当館の研究と研究実施体制について

第3回 平成19年6月5日（火）13：30～14：45

場 所 中会議室

議事次第

1. 当館の研究と研究実施体制について

第4回 平成19年6月26日（火）13：30～14：45

場 所 中会議室

議事次第

1. 当館の研究と研究実施体制について

- (1) 教員組織とその職務内容について
- (2) 外部資金による研究事業の位置づけの明確化

(3) 事業部の再編

第5回 平成19年7月18日(水) 10:30~12:00

場 所 中会議室

議事次第

1. 次期中期目標・計画期間における外部資金の取扱いについて

第6回 平成19年11月21日(水) 10:00~11:00

場 所 中会議室

議事次第

1. 次期中期目標・計画期間における研究組織について
2. その他

第7回 平成19年12月19日(水) 10:00~11:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 次期中期目標・計画期間における研究組織について

13. 研究戦略委員会

委員：鈴木 淳	副館長
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
古瀬 蔵	複合領域研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
青木 睦	アーカイブズ研究系准教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
小川 剛生	文学資源研究系准教授
齋藤真麻理	文学形成研究系准教授
五島 敏芳	アーカイブズ研究系助教
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年7月18日(水) 13:30~15:00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 寄附金の受入について
2. 受託研究について
3. 科学研究費補助金の採択状況及び結果開示について
4. その他

【報告事項】

1. 科学研+究費補助金の応募資格の館内措置について
2. その他

【連絡事項】

1. 科研費説明会について
2. その他

第2回 平成19年9月6日(木) 13:30~15:00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成20年度科学研究費補助金申請計画について
2. 大型科研WGについて

【報告事項】

1. 平成20年度科学研究費補助金における公募内容の変更について
2. 間接経費の配分状況について
3. 平成20年度日本学術振興会国際研究集会について
4. 平成19年度研究助成金等募集一覧について

【連絡事項】

事務局から次回の会議は、ある程度固まった申請計画に基づき進めたいという提案が出された。

第3回 平成19年10月18日(木) 13:30~15:00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成20年度科学研究費補助金の申請予定課題について
2. 大型科研WGについて
3. SCAT研究助成への応募について

【報告事項】

1. 研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)に基づく体制整備等について
2. 科研の執行率について
3. その他

第4回 持ち廻り審議機関 平成19年12月12日~平成19年12月21日

以下の事項について、委員全員の承認を得た。

議事次第

【審議事項】

1. 寄附金の受入れについて

【報告事項】

1. 平成 19 年度連携研究の発信事業に伴う予算の配分について
2. 平成 20 年度科学研究費補助金計画調書の提出について

14. 国際交流委員会

委員：安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系准教授
陳 捷	文学資源研究系准教授
渡辺 浩一	文学資源研究系准教授
入口 敦志	文学資源研究系助教
前川佳遠理	複合領域研究系助教
城所 忠	管理部長（平成 19 年 12 月 31 日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成 20 年 1 月 1 日から）
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部事業課長

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 5 月 11 日（金）10：30～12：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 国際研究集会（パリ）の開催について
2. シンポジウム（東京）の開催について
3. 国際集会（イタリア日本学会：ヴェネツィア）への教員の派遣について
4. 平成 19・20 年度開催予定の国際研究集会等について

【報告事項】

1. ライデン大学文学部との学術交流協定調印前覚書等について
2. 国際学会（ハーバード大学）の開催について
3. 国際シンポジウム（台湾大学）の開催について
4. 平成 19 年度総研大海外先進教育研究実践支援制度派遣候補者について
5. 平成 20 年度日本学術振興会国際研究集会の申請について
6. 第 8 回海外の日本文学研究者との懇談会実施状況について
7. サレジオ大学図書館マリオ・マレガ文庫との覚書について

第2回 平成19年9月19日(水) 13:30~15:00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 今後の海外渡航について
2. 海外の学术交流協定先への図書寄贈について
3. 国際交流事業報告書について
4. 海外の日本文学研究者との懇談会について
5. 国際交流のあり方について
6. その他

【報告事項】

1. 平成20年度日本学術振興会国際研究集会の採択結果について
2. 平成19~20年度開催予定の国際研究集会等について
3. その他

第3回 平成19年10月9日(火) 13:30~15:00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 海外渡航について
2. ハーバード大学で行う国際研究集会について
3. 国際交流委員会のあり方について
4. 協定先との交流にかかる贈り物について

【報告事項】

1. 第9回海外の日本文学研究者との懇談会実施状況について
2. その他

第4回 平成19年11月7日(水) 13:30~15:00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成20年度国際交流関係予算要求について
2. 平成21年度外国人研究員の候補者について
3. 国際交流委員会のあり方について

【報告事項】

1. 海外渡航について
2. 平成20年度科学研究費補助金の申請について
3. 国際日本文学研究集会について
4. 国際交流事業報告書について
5. 平成20年度外国人著名研究者招へい事業について
6. フランス国立科学研究センター及びENS-LSHによる国文学研究資料館の視察について

7. 第10回海外の日本文学研究者との懇談会について
8. 海外の学術協定先への図書寄贈について

第5回 平成20年1月23日(水) 10:00~11:00

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 来年度の協定大学との交流内容について
2. コレージュ・ド・フランスとの協定に関する見直しについて
3. 若手教員の海外派遣の対象者について

【報告事項】

1. 海外渡航について
2. 国際交流事業報告書について
3. ハーバード大学での国際集会プログラムについて
4. 平成19年度第2回国際日本文学研究集会委員会報告について

第6回 平成20年2月5日(火) 10:30~11:30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成20年度総研大海外先進教育研究実践支援制度派遣候補者について

【報告事項】

1. その他

第7回 平成20年3月12日(水) 13:30~15:00

場 所 第2会議室

議事次第

【審議事項】

1. 規程の一部改正について
2. 平成20年度の交流のあり方について
3. 今後の国際交流の戦略をどのようにするか
4. 平成19年度の報告書の作成について

【報告事項】

5. 海外渡航について
6. その他

15. 大学院教育委員会

委員：鈴木 淳 副館長
安藤 正人 アーカイブズ研究系教授

大高 洋司	日本文学研究専攻長
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
青木 睦	アーカイブズ研究系准教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系准教授
小川 剛生	文学資源研究系准教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系准教授
城所 忠	管理部長（平成19年12月31日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成20年1月1日から）
愛場 優治	管理部総務課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年4月26日（木）午後1時30分～2時45分

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度特別共同利用研究員の受入について
2. 平成19年度特別共同利用研究員オリエンテーションについて
3. その他

第2回 平成20年1月23日（水）15：00～

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成19年度研究指導報告書・研究報告書について
2. 平成19年度研究指導修了通知書・研究修了証明書（案）について
3. 平成20年度特別共同利用研究員の募集要項（案）・ポスター（案）・応募書類（案）について
4. 平成20年度特別共同利用研究員指導課題一覧（案）について
5. 平成20年度特別共同利用研究員の募集要項送付先一覧
6. その他

16. 調査収集計画委員会

委員：鈴木 淳	副館長
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
武井 協三	文学形成研究系主幹
谷川 恵一	複合領域研究系主幹
田淵句美子	文学資源研究系主幹
青田 寿美	複合領域研究系准教授

小川 剛生	文学資源研究系准教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
陳 捷	文学資源研究系教授
渡辺 浩一	文学資源研究系准教授
井田 太郎	文学形成研究系助教
木戸 雄一	複合領域研究系助教
久保木秀夫	文学資源研究系助教
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

17. 出版委員会

委員：鈴木 淳	副館長
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系准教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系准教授
齋藤真麻理	文学形成研究系准教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系准教授
渡辺 浩一	文学資源研究系准教授
相田 満	文学形成研究系助教
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部事業課長

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 4 月 26 日（火）17：00～18：30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究成果刊行促進制度の応募について
2. 審査会について
3. 今年度の紀要作成 WG について

【報告事項】

1. 『和書のさまざま—書誌学入門—』の刊行について
2. その他

第2回 平成19年5月8日(火) 13:30~14:10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究成果刊行促進制度の応募について

第3回 平成19年5月22日(火) 10:00~11:15

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 当館の刊行物のあり方について

【報告事項】

1. 第1回審査会について

第4回 平成19年6月6日(水) 16:00~17:30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究成果刊行促進制度審査結果について
2. 平成19年度出版計画について
3. 国立情報学研究所による研究紀要の電子化への対応について

【報告事項】

1. 紀要作成WG報告
2. 平成18年度の出版物について
3. 当館で販売する出版物について

第5回 平成19年8月2日(木) 10:30~12:15

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究成果の公刊について
2. 平成19年度出版計画について

【報告事項】

1. 平成19年度研究成果刊行促進制度について
2. 紀要作成WG報告

第6回 平成19年9月26日(水) 10:30~12:20

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究プロジェクトなどの成果公刊に関する申合せについて

2. 広報関係出版物について
3. 出版社からの刊行物の館内での販売について

【報告事項】

1. 紀要作成 WG 報告

第7回 平成19年10月16日(火) 10:30~12:10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 研究プロジェクトなどの成果出版に関する申合せについて
2. 広報関係出版物について

【報告事項】

1. 紀要作成 WG 報告

18. 情報図書館委員会

委員：鈴木 淳	副館長
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	文学資源研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
古瀬 蔵	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系准教授
齋藤真麻理	文学形成研究系准教授
陳 捷	文学資源研究系准教授
野本 忠司	複合領域研究系准教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系准教授
久保木秀夫	文学資源研究系助教
木戸 雄一	複合領域研究系助教
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年5月24日(木) 10:30~12:10

場 所 中会議室

議事次第

1. データベースの公開について
2. 「日本古典文学本文データベース」の利用について
3. 国文学研究資料館著作物（データベース）の館外への提供についての取扱い（案）について
4. 図書資料委員会報告

19. 図書資料委員会

委員：齋藤真麻理	文学形成研究系准教授
大高 洋司	文学資源研究系教授
陳 捷	文学資源研究系准教授
加藤 昌嘉	文学形成研究系准教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系准教授

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 4 月 24 日（火）13：30～14：45

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 平成 19 年度図書購入計画について
2. 図書の選定について
3. 小泉弘氏旧蔵資料について
4. 長谷章久旧蔵活字本寄贈申込について
5. 坂田穂好氏資料寄託申し込み（追加）について
6. その他

第 2 回 平成 19 年 5 月 15 日（火）15：30～17：05

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 貴重書指定について
2. 『国文学研究資料館年報』新収和古書紹介書目選定及び解題執筆者について
3. 木藤才蔵氏資料寄託申し込みについて
4. 小泉弘氏旧蔵資料について
5. 図書の選定について
6. その他

【報告事項】

1. 平成 18 年度受入和古書・近代原本一覧

第 3 回 平成 19 年 7 月 3 日（火）13：30～15：10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 木藤才蔵氏資料寄託追加申し込みについて
2. 明治古典会について
3. 図書の選定について
4. その他

第4回 平成19年9月12日(水) 13:30~14:40

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 歴史関係史料2件の受入について
2. 図書の選定について
3. その他

第5回 平成19年10月9日(火) 13:30~14:10

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 貴重書指定について
2. 図書の選定について
3. その他

第6回 平成19年11月13日(火) 13:30~14:35

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 本田安次氏旧蔵書の受け入れについて
2. 平成20年度業務計画書の作成について
3. 図書の選定について
4. その他

第7回 平成19年12月19日(水) 13:30~14:30

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 久松潜一旧蔵書の受け入れについて
2. 期限の切れる寄託資料の更新について
3. 図書資料の廃棄について
4. 図書の選定について

5. その他

第8回 平成20年1月31日(木) 13:30~14:00

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 久松潜一旧蔵書の特別コレクション指定について
2. 期限の切れる寄託資料の更新について
3. 図書の選定について
4. その他

20. 評価委員会

委員：鈴木 淳	副館長
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
渡辺 浩一	文学資源研究系准教授
木戸 雄一	複合領域研究系助教
城所 忠	管理部長(平成19年12月31日まで)
岡崎 省二	管理部長(平成20年1月1日から)
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年10月9日(火) 15:30~17:20

場 所 中会議室

議事次第

1. 中期目標期間の評価について
2. 平成18年度年報について

第2回 平成19年11月27日(火) 17:05~18:20

場 所 中会議室

議事次第

1. 平成 20 年度年度計画について
2. 中期目標期間の評価について
3. 太学院評価との関係について

第 3 回 平成 20 年 1 月 24 日 (木) 15:30~16:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 中期目標期間の評価について
2. 中期目標期間の評価について
3. 大学院評価との関係について

第 4 回 平成 20 年 2 月 29 日 (金) 15:00~18:00

場 所 第 2 会議室

議事次第

1. 中期目標期間の評価について

21. 知的財産委員会

委員：高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系准教授
野本 忠司	複合領域研究系准教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系准教授
加藤 聖文	アーカイブズ研究系助教
城所 忠	管理部長 (平成 19 年 12 月 31 日まで)
岡崎 省二	管理部長 (平成 20 年 1 月 1 日から)
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 7 月 19 日 (火) 15:30~16:30

場 所 中会議室

議事次第

【審議事項】

1. 平成 19 年度 知的財産整備事業計画について
2. 国文学研究資料館データベース情報の館外への提供についての取扱い

【報告事項】

1. 「リプリント日本近代文学」の Amazon との広告代行の契約について
2. その他

22. 移転実行委員会

委員：安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大友 一雄	アーカイブズ研究系教授
中村 康夫	文学形成研究系教授
山崎 誠	文学形成研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
小川 剛生	文学資源研究系准教授
齋藤真麻理	文学形成研究系准教授
陳 捷	文学資源研究系准教授
野本 忠司	複合領域研究系准教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系准教授
江戸 英雄	文学形成研究系助教
加藤 聖文	アーカイブズ研究系助教
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成 19 年度開催状況：

第 1 回 平成 19 年 9 月 6 日（木）10：00～

場 所 大会議室 A

議事次第

1. 前回議事要録の確認
2. 立川キャンパスサイン計画について
3. 入退室管理システムについて
4. 立川総合研究棟の部屋の再配置について
5. ブラインドについて
6. 立川移転スケジュールについて
7. 電話番号計画について
8. その他 (1) 次回の開催 (2) 今後検討を要する事項について

第 2 回 平成 19 年 11 月 7 日（水）14：30～

場 所 大会議室 B

議事次第

1. 前回議事要録の確認
2. 交流棟 I・II の要求について
3. 維持管理費の負担方法について
4. 「立川キャンパスの建物及び附帯設備に関する基本協定書」について
5. 立川移転スケジュールについて
6. その他 (1) 次回の開催 (2) 今後検討を要する事項について

第3回 平成20年2月28日(木) 13:30～

場 所 第1会議室

議事次第

1. 前回議事要録の確認
2. 自動販売機設置業者の選定について
3. 附帯設備費執行計画について
4. 共用部分の使用について
 - ・交流アトリウム内の展示ケースと利用者用コインロッカー
 - ・喫煙コーナーの喫煙テーブルの調達
 - ・受付について(カウンターの調達、受付業務)
 - ・シャワー室内への洗濯乾燥機の調達
5. その他 (1) 次回の開催 (2) 今後検討を要する事項について

23. 広報委員会

委員：安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授
青木 睦	アーカイブズ研究系准教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
伊藤 鉄也	アーカイブズ研究系准教授
落合 博志	文学資源研究系准教授
齋藤真麻理	文学形成研究系准教授
野本 忠司	複合領域研究系准教授
山田 哲好	アーカイブズ研究系准教授
相田 満	文学形成研究系助教
北村 啓子	アーカイブズ研究系助教
前川佳遠理	複合領域研究系助教
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成19年度開催状況：

第1回 広報委員会・出版委員会合同会議

平成19年11月13日(火) 10:30～11:55

場 所 大会議室B

議事次第

1. 議長選出

【協議事項】

1. 広報関係出版物について
2. 英文要覧の作成について

第2回 平成20年1月25日(金) 13:30~14:45

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 「国文学研究資料館概要2008」の作成について
2. 今後のホームページの運用について

24. 衛生委員会

委員：愛場 優治	管理部総務課長
丸山 道彦	産業医(平成20年2月28日まで)
畑 三枝彦	産業医(平成20年3月1日から)
黒瀧 裕	管理部総務課課長補佐
古瀬 武彦	管理部総務課人事係長
江戸 英雄	文学形成研究系助教
山田 直子	文学資源研究系助教
佐藤 崇	管理部総務課総務係員

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年4月19日(木) 14:00~14:10

場 所 中会議室

議事次第

1. 衛生委員会の今年度の活動について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 次回の開催について
4. その他

第2回 平成19年5月23日(木) 14:00~14:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 次回の開催について
3. その他

第3回 平成19年6月13日(木) 14:00~14:15

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 構内清掃における安全衛生対策について
3. 次回の開催について

4. その他

第4回 平成19年7月2日(月) 14:30~14:40

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 次回の開催について
3. その他

第5回 平成19年7月25日(水) 14:00~14:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 定期健康診断の実施について
3. 研修会について
4. 次回の開催について
5. その他

第6回 平成19年9月5日(水) 14:00~14:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 健康診断について
2. 法定点検、設備業務等について
3. 研修会について
4. 次回の開催について
5. その他

第7回 平成19年10月17日(水) 14:00~14:15

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 研修会について
3. 次回の開催について
4. その他

第8回 平成19年11月21日(水) 14:00~14:30

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 研修会について
3. 次回の開催について

4. その他

第9回 平成19年12月17日(月) 14:00~14:25

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. インフルエンザの予防について
3. 次回の開催について
4. その他

第10回 平成20年1月9日(水) 14:00~14:20

場 所 2号書庫講義室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. ウォームビズについて
3. 次回の開催について
4. その他

第11回 平成20年2月6日(水) 14:00~14:15

場 所 中会議室

議事次第

1. 法定点検、設備業務等について
2. 次回の開催について
3. その他

第12回 平成20年3月13日(木) 16:30~17:00

場 所 第2会議室

議事次第

1. 衛生委員会委員について
2. 定期巡視の場所について
3. 法定点検、設備業務等について
4. 今年度労働衛生関係実績報告
5. 来年度の予定について
6. 次回の開催について
7. その他

25. 賛助会運営委員会

委員：伊井 春樹 館長
 鈴木 淳 副館長

田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
城所 忠	管理部長（平成19年12月31日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成20年1月1日から）
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年6月27日（水）10：30～

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 委員長選出、副委員長指名
2. 今後の進め方について
3. 寄附申込者の審査について
4. 寄附者の館内掲示等について
5. 若手研究者の育成事業について
6. 賛助会検討事項について
7. その他

第2回 平成19年7月26日（水）13：30～

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 寄附申込者の審査について
2. 「日本古典文学賞」（仮称）について
3. 寄附者名のホームページへの掲載について
4. その他

【報告事項】

1. 館内者の寄附状況について
2. その他

第3回 平成19年10月11日（木）15：30～

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 日本古典文学学術賞（仮称）の制定について（鈴木委員長）
2. 日本古典文学学術賞（仮称）選考委員の推薦依頼について（鈴木委員長）

3. その他（鈴木委員長）

【報告事項】

1. 寄附者について（愛場総務課長）
2. 寄附者名の館内掲示板の設置について（愛場総務課長）
3. その他（鈴木委員長）

第4回 平成19年11月8日（木）15：30～17：15

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 「日本古典文学学術賞」選考委員会委員の選出について
2. 「日本古典文学学術賞」候補者の推薦について
3. 選考委員会等にかかる検討事項について
4. 資金の運用について

【報告事項】

1. 「日本古典文学学術賞」選考委員の推薦について
2. 寄附者について（第3回委員会以降）

第5回 平成19年12月19日（木）15：30～16：40

場 所 中会議室

議事次第

【協議事項】

1. 日本古典文学学術賞選考委員会委員について
2. 日本古典文学学術賞候補者の推薦依頼について
3. 選考委員会等にかかる検討事項について
4. その他

【報告事項】

1. 寄附者について

26. 情報セキュリティ委員会

委員：鈴木 淳	副館長
古瀬 蔵	電子情報事業部長
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

27. 情報公開委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	調査収集事業部長
古瀬 蔵	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
城所 忠	管理部長（平成 19 年 12 月 31 日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成 20 年 1 月 1 日から）
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

28. 人権委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
大高 洋司	日本文学研究専攻長
中村 康夫	文学形成研究系教授
古瀬 蔵	複合領域研究系教授
山下 則子	文学形成研究系教授
青木 睦	アーカイブズ研究系准教授
青田 寿美	複合領域研究系准教授
山田 直子	学術情報課図書情報係
城所 忠	管理部長（平成 19 年 12 月 31 日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成 20 年 1 月 1 日から）
愛場 優治	管理部総務課長

29. 危機管理委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
大高 洋司	文学資源研究系教授
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
古瀬 蔵	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授
城所 忠	管理部長（平成19年12月31日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成20年1月1日から）
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年10月16日（火）14：30～15：40

場 所 中会議室

議事次第

1. 情報機器の管理について

30. 研究倫理委員会

委員：伊井 春樹	館長
鈴木 淳	副館長
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
古瀬 蔵	電子情報事業部長
山崎 誠	普及・連携活動事業部長
大高 洋司	情報資料サービス事業部長（日本文学研究専攻長）
城所 忠	管理部長（平成19年12月31日まで）
岡崎 省二	管理部長（平成20年1月1日から）
愛場 優治	管理部総務課長
大西由喜男	管理部財務課長
新馬場正人	管理部学術情報課長

31. 外部評価委員会

委員：今西裕一郎	九州大学大学院人文科学研究院教授
内田保廣	共立女子大学文芸学部教授
小島孝之	成城大学文芸学部教授
藤田學	東京大学大学院人文社会系研究科教授
ヘルベルト・プルチョウ	城西国際大学人文学部教授

32. 研究水準外部評価委員会

委員：今西裕一郎	九州大学大学院人文科学研究院教授
内田保廣	共立女子大学文芸学部教授
小島孝之	成城大学文芸学部教授
藤田學	東京大学大学院人文社会系研究科教授
ヘルベルト・プルチョウ	城西国際大学人文学部教授
宗像和重	早稲田大学政治経済学術院教授
渡邊守邦	実践女子大学文学部教授

平成19年度開催状況：

第1回 平成19年11月9日（金） 14：00～16：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 中期目標期間の評価について
2. その他

第2回 平成20年1月18日（金） 14：00～16：00

場 所 中会議室

議事次第

1. 中期目標期間の評価について
2. その他

XII

運営会議委員・幹部職員一覧

1. 運営会議委員（五十音順）

※職名は平成19年4月1日現在のもの

(館外)	
揖斐 高	成蹊大学文学部教授
岡崎 久司	早稲田大学熊野文化研究所客員教授
雲英 末雄	早稲田大学文学学術院教授
工藤真由美	大阪大学大学院文学研究科教授
榊原 悟	群馬県立女子大学文学部美学美術史学科教授
高埜 利彦	学習院大学文学部教授
十川 信介	学習院大学文学部教授
名和 修	(財)陽明文庫長
平野由紀子	お茶の水女子大学大学院人間文化研究科教授
保立 道久	東京大学史料編纂所教授
森 正人	熊本大学文学部教授
(館内)	
安藤 正人	アーカイブズ研究系教授
大高 洋司	情報資料サービス事業部長
鈴木 淳	副館長
高橋 実	アーカイブズ研究系研究主幹
武井 協三	文学形成研究系研究主幹
谷川 恵一	複合領域研究系研究主幹
田淵句美子	文学資源研究系研究主幹
中村 康夫	文学形成研究系教授
古瀬 蔵	複合領域研究系教授
山崎 誠	文学資源研究系教授

2. 幹部職員一覧

館長	伊井 春樹
副館長	鈴木 淳
管理部長	城所 忠
総務課長	愛場 優治
財務課長	大西由喜男

<u>学術情報課長</u>	新馬場正人
文学資源研究系研究主幹	田淵句美子
文学形成研究系研究主幹	武井 協三
複合領域研究系研究主幹	谷川 惠一
アーカイブズ研究系研究主幹	高橋 実



大学院教育

1. 総合研究大学院大学について

【概要】

本年度は、6月に申請のあった1期生1名の学位論文本審査を8月に行い（平成18年度中に予備審査合格済み）、8月31日の公開発表会、9月14日の文化科学研究科教授会の議を経て合格、9月28日に博士号を授与された。

また、7月に外部から申請のあった学位請求論文（論文博士）の予備審査を8月に行い、9月の専攻委員会において合格と判定、11月から本審査手続きに入り、1月の本審査・公開発表会、2月の文化科学研究科教授会の議を経て合格、3月に博士号を授与された。

5期生の受入（3名入学）を行い、休学者2名を除く12名の教育研究を行った。

10月から、研究生2名（いずれも留学生）を受け入れた。本年度、研究生の総数は計3名である。4期生、5期生の中間報告論文研究発表会（12月）を行うとともに、中間報告論文の審査を行い、全員を合格と判定した。

来年度の入学者選抜を行い、6期生2名が合格した。

本年度末、担当教員3名が退任した。

文化科学研究科特定教育研究経費事業（「スチューデントイニシアティブ実践教育プログラム」）に積極的に参加し、重要な役割を分担した。

また本年度は、20年2月を中心に基盤機関である国文学研究資料館の立川移転があったため、10月～3月の閲覧停止など、これに伴う専攻学生の研究教育へのマイナスを最小限に止めるよう、専攻の移転委員会を組織して、学生と相談しながら準備作業を進め、問題なく移転を完了することができた。

1. 日本文学研究専攻の運営

専攻の全般にわたる運営は、専攻長の元に置かれた専攻委員会において行っている。専門的な事項については、専攻委員会の下に教育研究委員会及び入学者選抜委員会を置いて審議している。本年度は、大学機関別認証評価に引き続き、平成20年度の中期目標機関評価対応のため、専攻内に評価委員会を設けた外、移転委員会を設置して基盤機関の立川移転に備えた。

文化科学研究科全体の運営に対しては、毎月定例で開催される専攻長会議において、「スチューデントイニシアティブ実践教育プログラム」（イニシアティブ事業）を含む重要な案件の審議を行っている。また専攻長会議とは別に、文化科学研究科レフェリージャーナル（「総研大文化科学研究」）編集委員会には、編集委員を派遣している。

総合研究大学院大学全体の運営に対しては、総研大本部の教育研究評議会に専攻長、評価担当教員会議に専攻の評価委員長が参加した。

今年度末で、担当教員3名（安藤正人教授・田淵句美子教授・加藤昌嘉准教授）が退任した。入

れ替えについては、次年度を待って行う予定である。

今年度は、イニシアティブ事業への参加、日本文学研究専攻特別講義の実施、研究生の受入れなどを通じて、他専攻や他機関との教育研究の交流が深まり、連携が促進されている。

2. 総合研究大学院大学及び文化科学研究科における活動

(1) 総合研究大学院大学教育研究評議会

今年度は定例で3回開催され、委員として専攻長が出席した。

(2) 文化科学研究科教授会

今年度は定例で2回開催され、構成員である担当教員が出席した。

(3) 文化科学研究科専攻長会議

テレビ会議方式と対面方式の両方により、毎月定例で開催された（通算13回）。

(4) 評価担当教員会議

平成20年度の中期目標機関評価に対応するため、大友一雄教授（専攻評価委員長）を委員として派遣した（大友教授は、研究科評価委員兼任。また大高洋司専攻長も、副研究科長として参加）。

(5) 総研大テラーメイド教育システム「広い視野を有する博士育成のためのテラーメイド教育システムの構築」

e-Learning方式による「遠隔教育システム構築事業」の一環として日本文学研究専攻から申請した「崩し字の解説」（中村康夫教授、2年計画の2年目）が採択され、教材作成作業を続行した。

3. 教育研究指導

教育研究指導分野として4分野をたて、授業科目数22科目、22名の担当教員により日常的な指導を行った。学生数は19年度末現在（休学者含む）で1期生1名、2期生3名、3期生5名、4期生2名、5期生3名の合計14名である。加えて、研究生3名を受け入れている（うち2名は10月以降）。

学生の教育研究指導については、主任指導教員が責任者となり、2名の副指導教員と共に、きめ細かに対応している。学生の学位論文の課題に応じて、基盤機関及び外部の研究会、学会に参加させるなど、より高度な専門教育研究指導を行っている。

本年度は、前・後学期を通じて13科目が開講され、所定単位を取得済の学生を除き全員が受講、単位認定を行った。中間報告論文研究発表会は12月4日に4期生2名、5期生3名、研究生1名が発表、講評を行った。これを受けて提出された中間報告論文は、審査の結果全員合格となった。

本年度はまた、昨年度に引き続き、平成18年度中に予備審査を合格していた1期生1名による申請（5月）を受けて、8月に学位論文本審査・公開発表会を行い、文化科学研究科教授会の議を経て合格、9月に博士号が授与された。

さらに、7月に申請のあった学位請求論文（論文博士）につき、予備審査を経て9月の専攻委員会において合格と判定、12月の本審査、1月の公開発表会、文化科学研究科教授会の議を経て合格、3月に博士号が授与された。

これにより、本年度現在、日本文学研究専攻からは課程博士2名、論文博士1名が誕生したことになる。

イニシアティブ事業としての学生国内外派遣事業については、調査研究目的では、国内延べ2名、

海外延べ1名、国内の学会などでの研究発表は延べ2名、海外での国際会議への参加は延べ2名であった。なお、国文学研究資料館が11月に開催した第31回国際日本文学研究集会では、本年も会議運営の補助に当たった。

総研大葉山本部の学生セミナー（4月）では、4期生1名が実行委員として参加し、5期生3名も出席した。

本年度は、文化科学研究科の学生企画委員を中心とする「第3回総研大文科フォーラム」が開催され（9月14～15日、日本青年館・南青山会館）、日本文学研究専攻からは2名が企画運営に関わったのを始め、大高専攻長（副研究科長）がイニシアティブ委員長として研究科教員の責任者をつとめ、専攻教員4名、学生4名が参加した。

また、同じく研究科のイニシアティブ事業の一環として、「第2回学術フォーラム」が開催され（2月22～23日、京都センチュリーホテル・アランヴェールホテル京都）大高専攻長がテーマ「方法」の発見のもとにイニシアティブ委員長として全体を統括し、パネルディスカッション「方法への模索」では、大高専攻長が司会、中村康夫教授がパネリストをつとめた。学生のポスター・セッションも行われた。教員9名、学生6名が参加した。

4. 専攻委員会

専攻委員会は日本文学研究専攻の担当教員22名で構成し、教育研究指導、学事処理、文化科学研究科・葉山本部への対応等、日本文学研究専攻の運営に全責任を負っている。専門委員会である教育研究委員会、入学者選抜委員会等の議を経た事項を諮るため定例で行われ、本年度は14回にわたって開催した。

5. 教育研究委員会の活動

教育研究委員会は、日常的な学生の教育研究を指導・推進するため、7名の委員で構成している（14回開催）。

（1）講義

年度当初に、学生が教育研究指導を受ける科目時間割の設定、科目の確定とシラバスのとりまとめ、履修計画の決定などを行い、前・後学期の講義を実施し（全13科目）、講義科目ごとの成績を厳正に評価し、単位を認定した。また、学年末に、最終的な成績評価を決定し、専攻委員会において学生の取得単位を確定した。

（2）中間報告論文

12月4日、中間報告論文研究発表会（公開）を開催し、4期生2名、5期生3名、研究生1名が発表を行い、指導教員からの講評に続いて活発な質疑が行われた。研究生の発表は本人の自主的な希望によって行われたものであり、内容的な評価も高かった。学生は発表に基づいて中間報告論文をとりまとめ、2月に提出、指導教員（3名）による審査を経て合否判定を行い、最終的に専攻委員会で全員合格と判定した。

（3）学位論文審査

本年度は、1期生1名による申請（平成18年度中に予備審査合格）を受けて、学位論文の本審査・公開発表会を8月に行い、教授会を経て、9月に博士号を授与された。なお専攻内からの予備審査の申請は、前期・後期ともになかった。

また、外部から申請のあった学位請求論文（論文博士）の予備審査を8月に行い、専攻委員会において合格と判定、本審査・公開発表会を1月に行い、教授会を経て、3月に博士号を授

与された。

(4) 院生の教育研究補助

留学生の増加に伴い、従来のチューターに加え、TA の設置を検討した（20 年度より制度化）。

(5) 情報機器の管理について

貸与物品（パソコン）及び情報の管理について検討し、専攻内におけるノート型パソコン及び記録媒体の館外持ち出し手続きを作成した。

(6) 教育研究資源の充実

例年の通り、学生の意思を汲み上げながら基本及び専門図書並びに学術誌の選定を行ったが、十分な利用は立川移転後に持ち越された。

6. 入学者選抜委員会の活動

入学者選抜委員会は 7 名の委員で構成し、国内外から広く学生を募集するための方策を検討、可能な限り実施し、また、次年度の入学者選抜を行った（合計 8 回開催）。

(1) 募集要項の作成と配布

年度当初に、平成 19 年度の入学者の募集要項を作成し、配布と同時に多面的な広報を行った。

(2) 広報活動

- ① ポスターを作成し、全国の大学・公共図書館等約 200 件に掲示を依頼した。
- ② チラシを 5,000 枚作成して、国文学研究資料館の各種行事参加者に配布し、周知に努めた。また、教員が参加する学会などでも配布した。
- ③ 日本文学関連雑誌への広告の掲載を行った。
 - ・「国文学-解釈と鑑賞」（至文堂）2007 年 8 月号・10 月号 表紙裏 1 頁大
 - ・「国文学-解釈と教材の研究」（學燈社）2007 年 8 月号・11 月号 1 頁大
 - ・「日本文学」（日本文学協会）2007 年 7 月号・8 月号・10 月号 1 頁大
- ④ 「国文学研究資料館ニュース№ 6、No 8」への掲載を行った。

(3) 大学院入試説明会

9 月 18 日に、国文学研究資料館において大学院入学試験説明会を実施した。伊井春樹館長の特別講演「源氏物語の読者たちへー絵入り梗概書から現代語訳へー」があり（一般聴講可）に続いて、専攻長挨拶・入試説明・館内見学・専攻担当教員研究室訪問を行った。参加者は 5 名であった。

(4) 入学者選抜試験の実施

平成 20 年度の入学者選抜試験を実施した。出願者が 4 名あり、第 1 次試験（論文審査）では、1 名の出願者について 3 名の委員が審査を行い、3 名を合格と判定した。

第 2 次試験（面接試験）は、1 次試験の合格者 3 名に対して、7 名の面接官による 5 段階評価で行い、2 名を合格と判定した。その結果は文化科学研究科専攻長会議で承認された。最終的に 1 名が辞退し、1 名が入学した。

(5) 研究生の受入

10 月に、研究生 2 名（いずれも留学生）を受け入れた。

7. 研究科・葉山本部などへの対応

(1) イニシアティブ関連

専攻長（大高専攻長は、文化科学研究科副研究科長として、イニシアティブ委員長を兼ねている）及び学生企画委員2名を中心に、専攻長会議・学生企画委員会と連携しながら、「第3回総研大文科フォーラム」（9月）の企画・推進、「第2回学術フォーラム」（2月）の推進に積極的に協力した。

(2) レフェリージャーナル編集委員会

「総研大 文化科学研究」第4号の発刊に向け、伊藤鉄也准教授を中心に原稿の募集及びレフェリーによる査読などを実施した。本専攻からは学生2名の投稿があり、採択・掲載された。

(3) 評価委員会

平成20年度の中期目標機関評価に対応するため、大友一雄教授を委員長として組織した。また大友教授は研究科評価委員を兼任し、大高洋司専攻長も、副研究科長として研究科評価委員会に参加している。

8. 広報活動

入学者選抜委員会を中心に、ポスター、チラシ、基盤機関のHP、専攻概要、入試説明会等を通じて広報に努めている。また「国文学研究資料館ニュース」に専攻の欄を設けて、様々な実績をアピールしている。

9. 教育研究プロジェクト

今年度は、担当教員を研究代表者とするプロジェクト、専攻長を研究代表者とするプロジェクトの、各1課題を立てた。担当教員と学生は、全員がどちらかの研究プロジェクトに所属し、研究会の開催、外部の所蔵機関に学生を同行しての資料調査などを通じて、研究指導を行った。

(1) 「日本文学研究の創生的教育研究方式に関する研究」

（研究代表者 山下則子教授）

(2) 「原資料の共同調査に基づく日本文学及び関連資料の研究」

（研究代表者 大高洋司専攻長）

10. 日本文学研究専攻特別講義

今年度は、立川移転準備のため、1回みの開催（7月12日）となった。

① 「南北朝の政治と文化—二条良基と足利義満の和漢聯句—」小川剛生准教授

② 「人工物とのつきあい方—ユーザー工学からのアプローチ—」

黒須正明教授（メディア社会文化専攻・教授、研究科長）

11. 特定教育研究経費によるイニシアティブ事業活動

研究科の特定教育研究経費による研究事業は、本年度は「スチューデントイニシアティブ実践教育プログラム」として、2課題が実施されている。当専攻の事業実績は以下の通り。

(1) 「有機的に関連した文化科学教育の推進に関する実践的研究」

① 学生派遣事業

・国内学生派遣関連事業

国内の原典資料の調査研究及び研究発表に、学生延べ4名を派遣した。

・海外学生派遣関連事業

海外の研究機関、資料所蔵機関などへの調査研究、また海外での研修会、研究発表に学生を派遣した。調査研究1件、研究発表2件の、延べ3名が参加した。

② レフェリージャーナル

「総研大 文化科学研究」第4号に、学生2名の論文が掲載された。

③ 学術フォーラム

「第2回学術フォーラム」(2月22~23日)が開催され、大高専攻長(副研究科長)がイニシアティブ委員長として全体を統括し、23日のパネルディスカッションでは、大高専攻長が司会、中村康夫教授がパネリストをつとめた。学生のポスター・セッションも行われ、教員9名、学生6名が参加した。

(2) 「学生企画教育推進プロジェクト」

① 学生企画事業 (Student Initiative Project)

「絵画研究プロジェクト」(プロジェクト代表者:七田麻美子、教員責任者:中村康夫)を実施し、9名が参加した。

② 学生企画委員事業

大高専攻長(文化科学研究科副研究科長、イニシアティブ委員長)及び学生企画委員2名が、「文科フォーラム」(9月)、「学術フォーラム」(2月)を中心に、事業の推進に積極的に協力した。

③ 文科フォーラム

「第3回総研大文科フォーラム」が開催され(9月14~15日)、当専攻からは学生企画委員2名が企画運営に関わったのを始め、大高専攻長(副研究科長)が責任者をつとめ、専攻教員4名、学生4名が参加した。

12. 施設・設備の整備

本年度末、基盤機関と共に立川に移転したが、日本文学研究専攻には、そのうち院生室、院生図書室、学生談話室(学習・懇談・会議など多目的に利用)、講義室(3室)、専攻長室が割り振られ、平成20年度からは、従来より格段に充実した施設・設備において院生の教育・研究が可能となった。

13. 予算

総研大からの専攻運営費で賄われている。

2. 特別共同利用研究員について

【特別共同利用研究員制度】

特別共同利用研究員制度とは、大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、学生を受入れて研究指導を行う制度である。

当館では、昭和54年度から大学院教育協力制度を発足させ、大学院生の受入れを開始し、平成10年度に特別共同利用研究員制度に改めて、受入れの拡充を図った。

受入人員は、毎年10人程度で、受入対象者は、大学院に在籍し、日本文学、歴史学及びこれらに

関連する分野を専攻する者である。受入期間は1年間

【受入】

平成19年度は、6大学から9人の申込みがあり、平成19年4月26日（木）に開催した第1回大学院教育委員会の審議を経て、館長が全員の受入れを許可した。

大学、課程、分野等は下記のとおりである。

大学別 国立大学2校、5人

私立大学4校、4人

課程別 博士前期（修士）課程7人

博士後期（博士）課程2人

分野別 国文学関係4人

歴史学関係5人

【オリエンテーション】

平成19年度特別共同利用研究員オリエンテーションは、平成19年5月17日（木）に開催し、特別共同利用研究員（以下「研究員」という）及び指導教員の自己紹介、引き続き「特別共同利用研究員のしおり」に基づき、各事務担当者から研究員制度における事務手続きや当館資料閲覧利用等に関する説明を行い、最後に研究員と指導教員が研究計画等の打ち合わせを行った。

【研究修了】

研究修了に伴い、研究員から研究報告書、指導教員から研究指導報告書が提出され、平成20年1月23日（木）に開催した第2回大学院教育委員会で、これらの報告書に基づき個別に審査した結果、研究員全員が修了者として認定された。

これを受けて、研究員に「研究修了証明書」を、所属大学の研究科長に「特別共同利用研究員研究指導修了通知書」を送付した。

【次年度の募集】

平成20年度特別共同利用研究員の募集要項、ポスター等は、これまで同様の内容で作成するが、平成20年2月下旬頃に立川市に移転するため、立川新施設の案内図を入れるとともに、立川移転に伴い多摩地区周辺大学を重点に関東地区の大学院を再度調べて送付リストに追加することが、第2回大学院教育委員会で決定した。



国際交流

【概要】

平成19年度は、前年度に引き続き、国際交流委員会における合議を基本に、運営費交付金の他、科学研究費補助金、国際交流基金等の助成を受けながら、多角的な国際交流活動を実施した。まず国際会議等では、国際日本文学研究集会の開催をはじめ、コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所と共同で「集と断片—国際共同研究の新たな視界—」を開催するなどした。人的交流も、外国人研究員の招聘、外来研究員の受入れ等を行う一方、海外で開催された国際シンポジウム等に職員を派遣した。また、日本に滞在中の海外の日本文学研究者との懇談会を実施した。その他、本年度の特徴として、人間文化研究機構の総合推進事業経費による連携研究「文化の往還」との絡みで、海外研究者との交流を図る機会が増えたことが挙げられる。

【国際シンポジウム等の開催】

- ① 国際シンポジウム「人物・キャラクターの視点による前近代文学史構築の研究」の開催
(台湾 国立台湾大学 平成19年5月13日)
- ② 国際研究会「アーカイヴズ、権力、社会(中世・近世の西欧とアジア) 文書管理に働くさまざまな力」(フランス 国立文書館歴史資料センター 平成19年6月19日)
- ③ 日仏国際研究シンポジウム「集と断片—国際共同研究の新たな視界—」
(日本 国文学研究資料館 平成19年9月25日)
- ④ 国際シンポジウム「二十一世紀における北東アジアの日本研究」
(中国 北京外国語大学 平成19年10月20日～21日)
- ⑤ 第31回国際日本文学研究集会 テーマ：手紙と日記—対話する私／私との対話—
(日本 国文学研究資料館 平成19年11月15日～16日)
- ⑥ 国際シンポジウム「近世アーカイヴズの多国間比較」
(日本 立教大学 平成19年12月14日～15日)
- ⑦ 海外の日本文学研究者との懇談会
 - 第1回 ジル村上サカエ氏(アルザス欧州日本学研究所(CEEJA)副所長)
平成19年4月26日
 - 第2回 エルキン・ヒュセイン・ジャン氏(当館アーカイヴズ研究系外国人研究員(客員准教授))
平成19年9月26日
 - 第3回 王益鳴氏(日本学術振興会外国人特別研究員・華南師範大学中文系副教授)
平成19年11月13日
- ⑧ 外国人研究員の招聘
エルキン・ヒュセイン・ジャン氏(アンカラ大学準助教授)(当館アーカイヴズ研究系客員准教授)(招へい期間：平成19年7月15日～平成20年1月14日)
- ⑨ 国外機関からの招聘による職員派遣
中央研究院学会参加(文学資源研究系陳准教授)

- ⑩ 外来研究員の受入2名
マイケル・エメリック コロンビア大学大学院博士課程 (米国)
(受入期間：平成18年7月24日～平成19年7月23日)
金 炫榮 韓国国史編纂委員会 (韓国)
(受入期間：平成19年7月1日～平成19年9月30日)
- ⑪ 学術交流協定締結
「サピエンツァ」ローマ大学 (イタリア)
平成19年8月29日締結 (有効期間：平成19年8月29日～平成22年8月28日)
- ⑫ 海外機関からの視察
平成19年11月6日 フランス CNRS 及び ENS-LSH 来訪
平成19年12月20日 オランダ IIAS 来訪
- ⑬ 国際会議等への参加
武井協三 5月 国際シンポジウム (台湾交流協会、中国文化大学、台湾大学・台湾)
相田 満 5月 「人物キャラクターによる文学史の構築」国際シンポジウム (台湾交流協会、
中国文化大学、台湾大学、故宮博物院・台湾)
野本 忠 7月 SIGIR 2007 (NK Grand Hotel Krasnapolsky・オランダ)
大高洋司 8月 「文化の往還」学会 (大連大学・中国)
武井協三 9月 イタリア日本文学研究会 (ヴェネチア大学・イタリア)
江戸英雄 “ ”
相田 満 9月 「人文科学とコンピューター科学」2007国際シンポジウム (東南科技大学、
中央研究院、故宮博物館・台湾)
伊井春樹 10月 「文化の往還」シンポジウム (北京大学、北京外国語大学・中国)
谷川恵一 “ ”
大高洋司 “ ”
渡辺浩一 “ ”
入口 敦 “ ”
伊井春樹 2月 「文化の往還」シンポジウム (アムステルダム国立博物館・オランダ)
大高洋司 2月 「文化の往還」シンポジウム (ライデン国立民族学博物館、ライデン大学・
オランダ)



総務・財務

1. 総務課

(1) 組織改組について

19年4月に管理部内の組織改正を行い、学術情報課（名称変更）及び、18年度の計画に基づき、外部資金及び国際交流等の担当部署の充実を図るため、研究支援室（新設）を設置した。

(2) 自己点検・評価について

平成18年度と同様に評価委員会において、自己点検・評価を実施し、平成19年度年度計画の策定を行うとともに、外部委員を構成員に含む各種委員会において、委員会では出された意見を汲み上げ、当館の運営の改善に努めた。

また、中期目標期間の業務実績報告書の作成との関連で、機構のガイドラインに基づいた「研究水準外部評価委員会」を設置し、外部評価を実施した。

(3) 広報について

平成18年度に引き続き、季刊「国文学研究資料館ニュース」を刊行し、関係機関への送付及び当館で開催した催し物等で積極的な配布を行うとともに、当館ホームページの更新を適宜行い、当館の広報に努めた。

また、平成20年度の立川市への移転に関連して、新ロゴマークを立川市の協力のもとに募集した。

(4) 事務の合理化について

各課で処理していた旅費関連業務を教育支援係で一元処理することで業務の効率化を図った。

また、平成18年度に引き続き、会議室の管理をグループウェアで行い、電子メールや館内専用ホームページの活用により、業務の効率化、情報共有の迅速化・効率化に努めた。加えて、試験的にファイルサーバーを導入し、事務情報の共有化、効率的運用・管理を図った。

(5) 職員の適正配置について

① 研究教育職員の整備

学校教育法の一部改正に伴い、人間文化研究機構研究教育職員組織の整備に関する基本方針により、助教授を准教授、助手を助教への職名変更及び職務内容の規定がなされた。

② 職員配置計画

管理部内では、各部署の役割分担の見直しを行い、職員を再配置し、業務運営の更なる改善を図った。

③ 事務職員・技術職員の選考・採用・人事交流状況

平成19年度においては人事の活性化を図るため、平成19年4月1日付けで東京大学1名、東京学芸大学1名、7月1日付けで東京大学3名、8月1日付けで一橋大学1名の人事交流を行った。

(6) 公募制及び任期制について

平成19年4月1日付けで公募により教授1名を採用した。

また、研究教育職員の任期に関する規則を改正し、平成19年4月1日以降に新たに採用される助教について適用されることになった。

(7) 外部資金による任期付き採用について

科学研究費補助金による研究支援者を平成19年4月1日に4名、5月1日に2名、6月20日に1名、10月1日に1名採用した（任期は平成19年3月15日）。

(8) 職員の研修について

当館の主催としては、「最新の健康問題と食事の取り方」をテーマに外部講師を招き研修会を実施した。

また、職務に対する理解を深めるとともに職員の業務遂行能力の向上及び当館での業務だけでは得難い知識の取得をさせることにより優秀な人材を育成するため、国立大学協会等外部機関が主催する研修会への積極的に参加をさせた。

(9) 超過勤務の管理について

引き続き、月2回開催の管理部連絡会議において、超過勤務縮減のため各課・系の業務内容、分担等の見直し及び業務の効率化について繰り返し要請を行った。

また、毎週水曜日を「定時退館日」、金曜日を「早期退館日」と定め、職員に周知することにより超過勤務の縮減を図るとともに、引き続き超過勤務を行う場合には、各職員が超過勤務の理由及び必要時間数を担当課長に申告し、担当課長が緊急性等を判断し、場合によっては時間数の短縮又は通常時間内に処理するよう指導の上、真に必要な時間数を命ずることとした。

(10) 職員の福利厚生について

年1回の健康診断の実施のほか、引き続き職員の間人ドッグ受診時の費用を一部負担するなど、職員の健康の保持増進に努めた。

また、レクリエーション事業として、バドミントン大会、ボウリング大会、ウノ大会を行ったことにより職員間の交流及び心身のリフレッシュを図るなど福利厚生の実に努めた。

(11) 研究プロジェクトについて

研究プロジェクト発表会を月1回開催し、各プロジェクトの進捗状況を定期的に公表するとともに事務連絡の場を設け、教員、事務双方とも情報の共有化を図った。

(12) 研究連携について

① 人間文化研究機構内での連携研究

機構内を構成する各機関の連携協力を推進するため、当館においても積極的に機構内連携研究等に取り組んだ。

a) 機構連携研究

連携研究「文化の往還」（日本とユーラシアの交流に関する総合的研究）では、6月にライデン大学において国際研究集会「オランダと日本—文化的〈対話〉の軌跡—」を開催した。専門分野の異なる人文学研究者が一堂に会して討議し、学術レベルでの新たな交流の端緒を拓いた。

次に研究テーマ「文化資源の高度活用」に即した課題「『日本実業史博物館』資料の高度活用」を開始し、「実博資料」を機構内外の機関や研究者と連携して研究し、資源の共同利用を高度に推進した。

b) 機構研究資源共有化

平成17年度に引き続き、当館教員が委員として入っている研究資源共有化検討委員会に

において、総合的検索システムの仕様を決定した。その上で、当館教員などから委員を選出し、タスクフォースを組織して、ソフトウェアを開発するとともに、各機関にサーバーを配置する等して、システムの基本部分について調達・導入を行った。

c) 機構連携展示

7月に「企画連携室」のもとに広報担当理事と各機関からの教員を構成員とする「連携展示ワーキンググループ」を設置し、19年度連携展示「幻の博物館の“紙”」を5月国文学研究資料館（展示・シンポジウム）、平成20年2月国立歴史民俗博物館（展示）を開催した。

(13) 研究者の交流について

① 客員教員

当館の研究プロジェクトへの参加を条件として採用を行うこととし、各研究系内において適任者を選考の上、研究主幹が研究業績等を記入した選考調書を作成し、その選考調書に基づき、研究会議において選考及び客員教授及び客員助教授の称号付与について協議の上、主幹・部長会議の議を経て、館長が決定することとした。

- ・平成19年度の採用状況 教授3人、助教授3人
(所属別 国立大学4人、私立大学1人、その他1人)
- ・平成20年度の採用計画 教授3人、准教授3人
(所属別 私立大学4人、公立大学1人)

② 外国人研究員

毎年外国人研究員を招へいし、共同研究を行っている。平成19年度においては、アーカイブズ研究系に1名配置し、共同研究を実施した。

③ 機関研究員

高度な研究能力を持つ若手研究者の養成及び研究プロジェクト等の推進を図るため、客員教員に準じた選考方法により各研究系に1名を配置している。

④ 日本学術振興会特別研究員

優れた若手研究者に、研究の場等を提供し、研究に専念する機会を与えるため、当館においても積極的に受入れることとし、平成19年度においては、平成17,18年度からの継続3人に対し、研究指導を行った。

その他、学術交流協定を締結しているコレージュ・ド・フランス日本学高等研究所との間における研究者交流や、私費、外部資金及び他機関等からの経費負担による研究者（外来研究員制度）についても積極的に受け入れており、平成19年度は4名（内外国人2名）を外来研究員として受け入れた。

(14) 外部資金について

当館の研究内容は、受託研究、民間等との共同研究等にはなじみにくい分野であり、競争的研究資金の獲得としては、科学研究費補助金、財団等が募集する研究助成金、その他の奨学寄附金を積極的に受け入れている。

平成17年度から、引き続き、研究戦略委員会において、外部資金獲得のための手段を講ずるとともに、競争的研究資金の募集情報を館内専用のホームページに掲載するなど、広く職員に周知を図った。

平成 19 年度外部資金受入状況

① 科学研究費補助金

19 件 直接経費 61,700 千円、間接経費 17,340 千円 合計 79,040 千円

この他に、当館が経理する分として、

研究成果公開促進費（データベース） 4 件 10,500 千円

特別研究員奨励費 4 件 2,500 千円

があり、総額は 92,040 千円となっている。

② 財団等の研究助成金 1 件 960 千円

③ 寄附金 1 件 3,000 千円

なお、科学研究費補助金については、教員、事務職員等を対象に近隣大学に呼びかけて、5 機関主催の説明会を文部科学省から講師を招いて開催するなど、ルールへの理解と遵守及びルール違反・不正使用のペナルティなどについて周知を図った。

(15) リサーチアシスタントについて

若手研究者育成の観点から、当館においてもリサーチアシスタントを採用することとし、各研究系に 3 人を上限とする枠を設け配置している。

採用に当たっては、各研究系が実施する研究プロジェクト（共同研究型含む）への参加補助を条件としており、選考手続きは、各研究系内で適任者を検討し、学生（候補者）及び所属大学の主任指導教授から内諾を得て、研究主幹が選考調書を作成し、研究系会議及び主幹・部長会議の議を経て、館長が決定している。

・平成 19 年度の採用状況 12 人

（所属別 国立大学 6 人、私立大学 6 人）

（研究分野別 国文学系 9 人、歴史学系 3 人）

うち、当館が基盤機関である総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻の学生は 3 名。

研究プロジェクトに参画させ、研究活動の効果的推進、研究体制の充実を図る一方で、若手研究者の研究能力の育成を目指しており、任用期間終了時には受入教員からリサーチアシスタント研究指導報告書を、本人からリサーチアシスタント研究成果報告書の提出を義務付けている。

(16) 知的財産関係について

法人化を契機に、今まで以上に知的財産の保護、円滑な管理及び専門家の養成などが、急務となっており、知的財産委員会を組織した。

また、人間文化研究機構における知的財産管理室へ 2 名の職員を併任させるとともに、知的財産セミナーやシンポジウムへ積極的に参加させるなど、当館における知的財産の創造、保護及び活用に対する意識の向上に努めた。

著作物については、その保護や権利を巡り、裁判にまで及ぶ事例も報道されており、今後とも当館の研究の特性に配慮しながら、知的財産の基本理念に沿った体制整備が引き続き必要であると思われる。

以上、中期目標・中期計画・年度計画に定めた目標の達成に向け、館長のリーダーシップの下、組織体制の整備、職員の配置、研究教育面への支援などの業務運営を適正かつ効率的・効果的に行うことを通して、法人化後の円滑な研究教育活動等の促進に向けて取り組みを行ったところで

ある。

今後とも、引き続き自ら点検・評価を行いながら、目的意識を持った業務の質の向上及び事務の効率化・合理化を目指し、更なる機能的な組織整備に努めていく。

2. 財務関係

(1) 平成 19 年度予算について

機構本部からの平成 19 年度当初配分予算額は、1,702,408 千円。

このうち、当館の事業、研究及び管理のための予算として、事業人件費、特殊要因経費、国文学情報資料保存設備費を除いた 537,741 千円について館内配分を実施した。館内予算については、各事業部・各研究系等からの配分要求に対して、館長、副館長、管理部長、財務課長によるヒアリングを実施し、前年度の決算や今年度の執行状況を踏まえながら査定を行い、主幹・部長会議の了承を得た上で、配分を決定している。

また、機構長裁量経費については、「『機構長裁量経費』の予算確保について」（平成 18 年 7 月 24 日機構会議申し合わせ）により、当分の間、毎年度政府原案に基づき内示される特定運営費交付金対象事業費（特殊要因経費を除く。）に 1% を乗じて得られた額を留保し、当初予算において機構長裁量経費として計上されることとなった。

これには、立川移転に伴う設備・移転経費として予算要求し、68,000 千円の配分を受けた。

(2) 立川新庁舎への移転

立川市内への移転については、昭和 63 年 5 月多極分散型国土形成促進法の制定を受けて、同年 7 月「国の行政機関等の移転について（閣議決定）」により、国文学研究資料館（品川区）、国立極地研究所（板橋区）、統計数理研究所（港区）が移転対象となったことによるものであり、当館は、平成 20 年 2 月末に品川区戸越から、立川新庁舎へ移転を完了した。

移転により、当館の延べ床面積は移転前の約 2 倍に拡大した。しかし、維持管理経費（光熱水費、設備点検保守・運転監視費、清掃費等）の大幅増が明白であり、自助努力だけでは対応困難であることから、必要な経費を文部科学省に予算要求し、移転後初年度の平成 20 年度においては、「特殊要因経費」として必要な経費が予算措置されることが決まった。次年度以降も引き続き必要な維持管理経費を要求していく。

移転用地の購入については、移転する 2 機構が契約し、毎年順次購入している。平成 22 年度までに購入完了する計画である。

(3) 施設マネジメント

施設マネジメントを推進するため、平成 20 年 3 月、施設マネジメント規程を整備し、施設マネジメント委員会を設置した。